

# 1. 富士桜墓地公園の外来種カナダガンについて



## 1. 自己紹介を兼ねて

- ◆ 大阪府にある関西創価高校の生物教諭。  
学生時代は、山階鳥類研究所で**ドバト**の調査。
- ◆ 1993年に亡くなった甥が納骨されている、静岡県富士宮市の「富士桜自然墓地公園」に大型の亜種カナダガンが生息していることを知り、調べ始めた。
- ◆ ホームページ「シジュウカラガン(カナダガン)情報」  
<http://kume.eco.coocan.jp/goose/40kara.html>



## 3. 私のホームページ

## 4. 迷鳥確認まで

- ◆ 日本野鳥の会富士宮支部長・阿部英雄さん(故人) や呉地さん・高良さん(日本雁を保護する会)、斎藤さん(墓地公園事務局総務部長・当時)などから取材した話のまとめ。

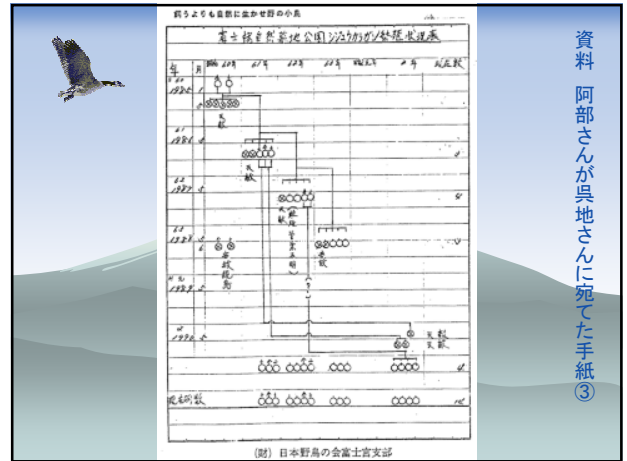
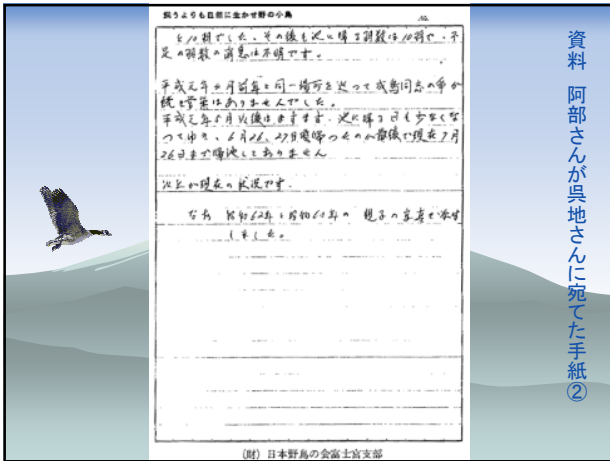
**1985年(昭和60年)年1月上旬**、珍しい大雪の日の夕方のこと、1羽の水鳥が墓地公園の池に降りてきた。初めは2羽の姿が見えたが、そのうち1羽のみが降り、他の1羽はしばらく上空を飛んでいたが、見えなくなった。よく見ると、降りた1羽は片足を痛めているようだった。

翌朝、昨日飛び去った1羽が戻って来て2羽おり、それ以後居着いた。

**1985年5月上旬**に5羽の雛が孵ったが、1週間ほどの間に次々と姿が見えなくなった。

初めの3年間ほどは全くの野生状態で人に馴れていなかったが、雛が育つようになってからは人に馴れ、1987・1988年頃より、池で幼鳥がパン屑をもらうようになった。

資料 阿部さんが呉地さんに宛てた手紙①



### 5. その後の繁殖状況

年	月	記事	備考
1985年 (昭和60年)	1月	産卵2羽飛来	
	5月	5羽孵化 その後1週間以内(に)消失	
1986年 (昭和61年)	5月	5羽孵化 そのうち2羽消失、3羽巣立ち	
1987年 (昭和62年)	5月	5羽孵化 そのうち1羽消失、4羽巣立ち	富士宮町(1987年5月3日) 成鳥2羽、亜成鳥3羽、幼鳥4羽
1988年 (昭和63年)	5月	5羽孵化 そのうち2羽消失、3羽巣立ち	成鳥2羽、亜成鳥7羽、幼鳥3羽
	6月	成鳥(親鳥)2羽事故死	(重) 成鳥 10羽(10月)
1989年 (平成元年)	5月	繁殖失敗(密集場所を巡る無し)	富士宮町(1989年11月2日) (重) 成鳥 10羽(12月)
1990年 (平成2年)	5月	1未の卵2枚産卵、3羽孵化、3日目に消失 別産卵か不明孵化、巣立ち ※1986年1987年生の個体(世代目)	富士宮町(1990年5月13日) (重) 成鳥 10羽、幼鳥4羽(7月) (重) 成鳥 11羽
1991年 (平成3年)	5月	6羽孵化	富士宮町(1991年5月10日) (重) 成鳥 11羽
1992年 (平成4年)	5月	3,20~25産卵、4,20は5,6羽孵化 そのうち2羽消失、4羽巣立ち 近くのゴルフ場での別個体が繁殖 4羽卵が失窃	富士宮町(1992年5月29日) (重) 成鳥 15羽、幼鳥 4羽(5月)



## 2. 外来種カナダガンとガチョウとの交雑例

- ・兵庫県西宮市北山貯水池の雑種
- ・茨城県牛久沼の雑種

## 3. 同じ県内でのシジュウカラガンと外来種カナダガンの観察例

- ・茨城県、埼玉県、千葉県、神奈川県
- \* シジュウカラガン回復計画の紹介

## 4. 外来種カナダガン捕獲作戦について

- ・神奈川県丹沢湖